

令和6年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	特定非営利活動法人W i t h 優		
事業名	「子どもの未来を支える里親基金」設立プロジェクト		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型）【テーマ：子どもの健全育成支援事業】		
団体の 所在市町村	米沢市	事業費	999,216 円
		うち助成金額	990,000 円
事業実施期間	令和6年6月13日～令和6年12月31日まで		

事業目的・実施内容	(事業目的) 本事業では、特に制度の狭間で支援を受けることが出来ない、親亡き後の子ども達や、虐待等を受けている子ども達、生活に困窮していることから経験出来ることが極端に少ない子ども達に対して、高齢等様々な理由で、里親にはなれないけど経済的な支援のみであれば出来る方を繋げる基金を立ち上げ、子ども達の生きる・学ぶ・働く、そして子ども達の笑顔を地域で支えていくことを目的とした。
	(実施内容) ① 「子どもの未来を支える里親基金」の設立・整備 事業採択後、本基金の会則や補助金交付規則の素案を作成、弁護士や税理士等の方からの助言を得ながら完成させ、基金設立後も制度の狭間で特に難しい ケースに関しては相談できる関係性を構築し、補助・支援するための助言を得るようにした。その会則等を基にチラシ・リーフレット、ホームページ (https://future-support-fund.org) を作成し、コミセン等の公共施設に設置する他、新聞による折込広告を行った。支援を必要とする世帯の実態把握や補助後の見守りのために県内各地域よりエリアマネージャーを選定し、設立後も支援の輪を広げるためにSNS等で広報を行った。設立総会は10月21日に開催し、役員及び専門家の計10名が参加した。 ② 役員及びエリアマネージャーの情報交換・交流会の開催 計画時は役員及びエリアマネージャーで交流会を開催する予定であったが、日程調整が難しく、エリアマネージャーに対してオンラインで打合せ・交流会を10月31日に開催、エリアマネージャー3名が参加した。



事業の成果	基金の設立について新聞や市報等でも大きく取り上げていただき、会員になりたいとの問い合わせも多くいただいた。また、会員になりたいという方は若い方から年金で生活をされている方まで幅広く、特に高齢の方からの問い合わせが多かった。継続的な支援は難しい、または高齢なので単発での支援をしたいという方もいらっしゃった。基金設立後に、経済的な理由で修学旅行を諦めようとしていた高校生への給付や車がないので活動範囲が狭く、海釣りをしたいという小学生への支援も行った。
今後の展望	今後は会員数を増やしていくというのが課題ではあるが、ロータリークラブ等から講演依頼も来ており、少しずつ支援の輪を広げていきたい。継続寄付は難しいが、単発の寄付であれば協力したいという方も多く、本事業終了後には置賜総合支庁において全職員を対象に募金集めを実施したこともあった。同様の取組みを市役所や企業等でも行ってもらえるように専用の募金箱を作成して、設置を行いたい。併せて、支援を要する子ども達や若者に支援を届けられるよう、県内の子ども・若者に関わる団体との連携も更に深めていきたい。



団体概要

団体名 特定非営利活動法人W i t h 優
代表者 白石祥和

URL <https://www.with-yu.net/>

(特非)W i t h 優は地域のどんな子どもも大人も居場所と役割を持ち、生き生きと生き抜ける社会を目指して活動しています。

令和 6 年度山形県N P O活動促進補助事業
収支精算書

事業の名称	「子どもの未来を支える里親基金」設立プロジェクト
団体名	特定非営利活動法人With優

1 収入の部 (単位：円)

区分	精算額	内容
県補助金	990,000	令和 6 年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入		
自己資金	9,216	
合計	999,216	

2 支出の部 (単位：円)

区分	精算額	内容
謝金	193,644	専門家、エリアマネージャー等への謝金
旅費	42,395	自車使用旅費
印刷製本費	409,354	チラシ印刷費
消耗品・材料購入費	5,543	封筒代
通信運搬費	20,300	郵送費、切手代等
保険料		
使用料		
人件費	166,500	スタッフ賃金
手数料	1,320	振込手数料
(委託費)	160,160	サイト作成費、新聞折込費、配送管理費等
(備品購入費)		
(修繕費)		
合計	999,216	